

[幸せを探すあなたへ]

## 幸せでなければならない人が幸せを見つけることができなくて 苦しみの中にいる理由は何でしょうか

家庭問題、健康問題、経済問題、精神問題のような、苦しい問題が今あなたを困らせていないでしょうか。

幸せな人生を送りたいというのは、だれもが願うことでしょう。しかし、理由なく押し寄せてくる苦しい人生の波風の前で、私たちは挫折と苦しみの中を背負って生きていくしかありません。深刻な苦しみの中で、酒やギャンブル、道楽、さまよい、脱線などして、しばらく忘れてみようとするのですが、結局、そのようなものに中毒になってしまった自分と、不幸な結果だけが残るのを見るだけです。なぜ、こういう問題が絶えずやってくるのでしょうか。いったい、この問題は、どこからはじまったのでしょうか。

神様が人間を創造された時、神様とともにいるように創造されました。木は地に、魚は水にいる時、最も安らかであるように、人間は神様と一緒にいる時が最も安らかです。これがまさに創造の原理です。この神様に会うことを「救い」と言います。聖書には、**すべての人が神様を知らない罪を持っていて、それは例外がない(ローマ人への手紙 3:23)**とおっしゃっています。

それなら、人間はいったい、いつからこういう苦しみの中に置かれるようになったのでしょうか。聖書の創世記 2 章を見れば、創造主である神様が、被造物である人に**園の木の実はずべて食べてもよいが、ただ善悪の知識の木からとって食べれば必ず死ぬ**と言われるみことばを語られる場面が出てきます。アダムとエバがこの契約を心に深く込めなかったという事実を知って、サタンは蛇を利用して、アダムとエバをだましてしまいます(創世記 3 章)。人間が、神様のみことばである契約をいいかげんに握ったことこそが、問題だったのです。偽りの父であるサタンは、この隙をついて、結局、人間が罪を犯して神様を離れるように誘惑しました。

サタンの誘惑にだまされて、神様を離れた人間は、結局、悪魔の子どもになって、苦しみ的人生を生きていくようになりました。悪魔は、間を裂いて、言い訳させながら、けんかをさせ、殺して、滅ぼして、結局、人間を完全にだめにしてしまう悪い存在です。

サタンの支配の中にある人間は、迷信や言い伝えに振り回され、運命とさだめに縛られて生きるようになりました。ある人々は、これによって他の人にはわからない未来が見えたり、目に何かが見えたり、耳に何か聞こえる霊的な感覚を持つようになるのです。そうして耐えられない霊的な試練を受けて、どうしてもなくなって、「神がかり」になった人もいます。これは、私たちの霊的な背景が、サタンになったからで、そうして同じサタンの背景を持った未信者が占ってもらいに行くと、その人の状態が占って見えるようになるのです。

このようになって、現れるのが精神的な苦しみです。不安、不平、むなしさ、精神病、不眠症、うつ病など、いくら裕福で社会的地位があっても、平安がなく、人生の楽しみがなく、虚しくなるだけです。これを解決しようと、よくない習慣に中毒になってしまいます。だれが見ても精神病だと見える人は、かえって安全です。見かけは正常に見えるのですが、内的に深刻な霊的問題を持ったサイコパスは、社会的に凶悪犯罪を起こす恐れがあって、とても危険です。

精神は、肉体とつながっているのです。肉体的な問題が現れるようになります。不治の病、難病、経済問題、家庭問題が生活を固く締めつけてきます。もしかして、あなたが特別にからだ病気のなかかわらず、病院に行っても、病名がわからず苦しんでいるのではありませんか。

だれでも結局は、死ぬようになって、さばかれるようになります。聖書のヘブル人への手紙 9 章 27 節では、**必ずあなたと私、私たちみんな、死ぬようになるのですが、その日を神様が決めておられる**と書かれています。そして、**必ずさばきがある**と書かれています。

死後の来世に対して話す時、大部分の人が、良い人が天国に行くと、悪い人が地獄に行くと間違えて考えています。天国は、神様の子どもが行くところです。私の子どもが、どんなに悪いことをしても、私の子どもは私の子どもであるように、良い生き方をする以前に、神様の子どもになることが重要です。地獄は罪の問題を解決できなかった未信者が行くところです。



このような問題を人間は自分から解決することができないので、神様が一方的にイエス・キリストを送ってくださいました。この世には、救いを得られるほど価値あるものは、何もありません。ただ、イエス・キリストを信じる時だけ、永遠のいのちを得るようになります。十字架で死なれるだけでなく、聖書どおり、もういちどよみがえられた方が、イエス・キリストです。その方が悪魔のしわざを打ちこわしに、この世に来られました。ただイエス・キリストだけが、悪魔のしわざを滅ぼす唯一の方です。イエス様だけが、神様に会う道であり、真理であり、いのちです。救われた神様の子どもを神様が完全に責任を負ってくださいます。私たちの子どもを私たちが責任をとって世話するように、神様も確実に神様の子どもすべての責任をとって導いてくださいます。

それでは、どのようにすれば救われるのでしょうか。あなたが救われて、すべての問題を解決してもらうためには、イエス・キリストを「私の救い主、私の神様」として受け入れなければなりません。だれでもイエス・キリストを本当に信じて受け入れれば、救われます。この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。(ヨハネの福音書 1:12)と約束され、「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです(ローマ人への手紙 10:13)とおっしゃいました。ローマ人への手紙 10章 9~10節を見れば「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです」とおっしゃいました。今、この時間、神様があなたの心の戸をたたいておられます。「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」(ヨハネの黙示録 3:20)

あなたは、今、祈りでキリストを受け入れることができます。キリストがあなたの心の中に入ってこられるように、真実な心で祈れば良いのです。次の祈りをそのまま祈れば良いのです。

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで復活されて、私のすべての問題を解決されたキリストであることを信じます。今、私の心の戸を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

あなたは今、イエス・キリストを受け入れて神様の子どもになって、真の安らぎと喜びを回復するようになりまし。しかし、一つ忘れてはならないことがあります。サタンは、神様の子ども祝福された信仰生活をしつこく邪魔するという事実です。神様の恵みを受けられないようにだまして、教会に行けないように邪魔したりもします。恐れと心配をもたらして、信仰が揺れるようにさせ、あなたが受けた祝福の知らせを伝えることを最後まで邪魔します。神様の子どもは、このサタンの策略を知って、いつも神様の子ども祝福を確信すれば良いのです。

神様は、聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての生活を治めて、導いてくださいます。また、救われたあなたの生活を完ぺきに責任を負ってくださいます。神様の子どもは、イエス・キリストの名前で何でも神様に祈ることができて、神様は必ずご自分のみこころ通り、答えてくださいます。イエス・キリストの御名の権威で、サタンのすべての勢力を縛って砕くことができます。今からは、大変なことが起こる時、イエス・キリストの御名で祈ってみてください。あなたの中にあるイエス・キリストの権威で、あなたを落胆させたり、怒らせたりさせるサタンの勢力はうち砕かれるでしょう。また、今から、あなたは天国の御座の祝福である、天の軍勢、御使いの助けを受けて、必ず勝利するようになっています。そして、永遠のいのちを得た天国の民として、そのすべての祝福を味わうことができます。死んで天国に行くのは当然であり、この世で生きながらも、行く所ごとに神様の国の祝福を味わうようになります。神様の国は義と平安と喜びです。もし失敗して罪を犯すとしても、罪を告白して悔い改めれば、許しててくださいます。災いとのろいは、もう終わったのです。あなたはイエス・キリストの福音で世界を征服して治めることができる権威を受けました。これがまさに救われたあなたに与えられた神様の子ども身分と権威です。

すべてを生かす鍵

「ただ聖霊に満たされなさい」

**先に解決しなければならないこと** 救われた神様の子どもが、その祝福を味わうにあたって、先に解決しなければならないことがあります。過去、現在、未来の問題に対する根本解決をしなければなりません。私たち自身が、過去に自分が持っていた苦しみを終わらせる道は、ただイエス、ただ福音しかありません。ただイエスでなくては、災いと霊的な状態を防ぐ方法がなくて、サタンと悪霊の働きに勝つことができないからです。また、今日の問題を解決する道があります。私が弟子の道に立てば良いのです。これは、私の生活が伝道と宣教の実際の中になければならないということです。未来の問題は、聖霊に満たされることを通して解決されます。することはとても多くて、力はないのですが、聖霊に満たされれば、だれでも力を受けるようになります。私だけの聖霊に満たしを味わう方法と時間を持つようになると、何にでも勝つことができます。このために、すべての祝福がすでに来ているという事実を知って、すべてのことにおいて譲歩すれば良いのです。この時、神様がくださる機会が見えるようになります。機会が見えれば、当然に感謝が出てきます。捨てるものがある理由は、取ること、持つことがあるためです。主が**復活されたあとにくださったみことば**、**昇天される前にくださったみことば(使徒1:1、3、8)**、**御座でくださったみことば(黙示1~2章)**を握らなければなりません。この時、神様のみことばが生き返り始めます。この人たちが世界を変化させました。

**最もやさしい方法-ただ聖霊に満たされること** 聖書を見ると、アブラハム、イサク、ヨブ、レムナント7人、パウロ、初代教会は、世界宣教をして、世界を征服することができるほどの答えと経済の祝福を受けました。このために、何から始めなければならないのでしょうか。まず、神様の民は自分を生かして、他の人を生かして、現場を生かす霊的な力を得るべきです。殺しては、何もできません。この霊的な力を得てこそ、専門性が出てきて、専門性の力をずっと持っていれば唯一性が出てくるようになります。そうすれば、完全に現場を生かすことができます。霊的な力を得て、聖霊に満たされれば、未来が見えて、神様が特別に備えておかれた経済が見えるようになります。この祝福を回復しなければなりません。それで、みなさんとみなさんの子孫が出す十分の一献金で、教会が生かさず、地域を生かし、文化を変える教会を作って、次世代(レムナント)を生かすほどのRUTCを立てるほどの祝福を受け、世界宣教するほどの祝福を受けなければなりません。それでイエス様が「**しかし、聖霊があなたがたの上に臨めば、あなたがたは力を受けて…地の果てまで証人となります**」という、最もやさしい方法をくださったのです。「**ただ聖霊に満たされなさい!**」私たちは、この奥義を回復しなければなりません。メッセージと伝道を握って、深い祈りに入れば良いのです。

**祈りの実際** 私は時間がたくさんあれば、一人で賛美して、私の生涯と関係があるみことばを黙想しながら、定刻礼拝(個人礼拝)をさせます。とても細かく祈る時はノートに記録しながら祈ります。そして、定刻祈りの時は、聖霊に満たされることと、5つの力(霊力、知力、体力、経済力、人材)を祈りながら、釜山福音化4万、民族福音化40万、世界福音化一千万のために祈って、20の伝道戦略とRUTCの奇跡、私たちの教会のために祈ります。そして、イエス・キリストの御名で、暗やみの権威を縛ります。今日ある集会とメッセージについて祈り、特別な問題があれば、続けて集中祈りをします。そして、常時で祈ります。このような時は、一日中、安らかな心で定刻祈りをします。今日から人を生かす霊的な力と聖霊に満たされる働きが始まるように願います。

毎日毎日の**泉の泉**

14日(月)/RUTC24 (イザヤ6:13)

RUTC24 を通して正しく専門性をそろえた次世代、全地域を生かして伝道運動をする次世代、各地域と国の責任を負うべき次世代を見つけて訓練をさせなければなりません。それで、本格的な学校戦略、文化戦略、学業キャンプ、言語キャンプをするのです。

15日(火)/簡単なことを逃した世界の教会(使徒2:41~42)

初代教会は、深刻な迫害の中で、福音はどんな問題でも勝てて、どんなことも解決できるということを見せました。私たちは初代教会が味わった福音の当然性、必然性、絶対性を味わいながら、私自身を生かして、人を生かして、時代を生かす祝福の主役にならなければなりません。

16日(水)/幼い時の体験(詩篇78:70~72)

大きい夢を持っていても、小さいことを誠実にすることを知らなければなりません。ダビデは、牧場で機能を捜し出して、牧場で信仰を育てながら、牧場で未来を体験しました。普段の時、未来に合う機能(実力)と信仰を育てたダビデに、神様は契約の箱を置く神殿の祝福と時代を生かす祝福を与えられました。

17日(木)/伝道者がしなければならない体験(使徒2:1~13)

福音を持ったということは、すべての問題がすでに解決されたということなので、福音以外のことは100%譲歩してもかまいません。むしろ、いつも復活された主の働きを体験して、講壇のみことばの証拠を握って、聖霊の働きを体験しながら、祈りの中で現場の証拠を握るのが伝道者がすべき体験です。

18日(金)/シナイの山に登ったイスラエル民族(出19:1~6)

シナイ山は、重要な意味がある契約の代表的場所です。モーセが呼ばれたところで、エリヤに新しいと新しい契約をくださった山です。毎日毎日、私を見て、私の使命を回復する霊的意味の山に登って、私のアイデンティティーと恵みを回復して、救いの奥義と神様の力で力を受ける祝福を味わうべきです。

19日(土)/律法から解放されて新しいものへ(ローマ7:1~6)

救われたということは律法から、過去に持ったすべての恐れから、すべての死の原理から、すべての運命から抜け出したということです。それで、私たちは神様の子どもとしてすべての祝福をみな受けたので、すべての心配を主に任せて祈れば、聖霊に満たされて聖霊に導かれるようになります。

週間メッセージ

産業宣教 | OMC時代のためのOneness (使徒2:1-4)

伝道学 | ビジョン祈り (創37:11)

核心訓練 | 世界を変える人 (使徒6:8-15)

聖日1部 | 盗んではならない (出20:15)

聖日2部 | 主の名を呼ぶものは救われる

(II-マ10:1-15)

## 故郷へ帰りなさい

西洋のことわざに、相手の長靴を履いて一マイルも歩いてみていないとすれば、その人を評価するなという言葉がある。人ごとに自分の都合があって、生き方の価値を追求する方向があるということだ。他人の行動が気に障ると、相手を自分勝手に判断して低く見るのは、あきらかに礼儀に外れることだ。今は、全世界が都市化されていて、どこの国でも多民族化、多宗教化されている。一緒にする共同体意識がなければ、個人も国も生き残ることができない時代になった。

近世になって、移民の時代がきて、韓国の人々も全世界に散って、自分の幸せを追求する権利を活用して、難しいが力強く暮らしていることは感謝なことだ。旅行をしてみれば、最高の経済の都市ニューヨークのマンハッタンや、ファッションの都市フランスのパリで素敵な韓国人に会って、アフリカ辺境地の砂漠で旅館をする韓国人や、共産国家でも食堂をする人もいた。今は、世界の中の韓国だけでなく、韓国の中の世界を見ることもできる。韓国も多くの多民族が、自分たちの宗教と慣習を持って入ってきて暮らしていて、それが自然な時代になった。彼らもやはり、私たちの市民であることを認めなければならぬ時間があったのだ。

ところで、時に私たちは単一民族という理由だけで、多民族の流入を喜ばない人々を、たまに見るようになる。言葉と風習が違う他の国にきて、生活をするということは本当に難しいのだ。こういう状況を十分に理解できなくて、自分の経験だけで彼らが持っている民族的特性を無視したり、生活の姿勢を批判するには、私たちがとても無礼だと感じる。

彼らの衣装や独特の食べ物文化による香りは、個人ごとに民族ごとに違うので、事実、それまですべて理解してあげるには時間が足りないが、現実には急に差し迫ってくる。韓国の食べ物の特徴は、多様な味の材料を入れることなのに、その中でニンニクは重要な役割をする。アメリカに住む友人が韓国に戻ってきて、ニンニクを食べないので、その理由を尋ねたところ、単純だが明らかな返事で、彼らがニンニクの臭いを嫌うから、礼を尽くすのに食べないようにしていたのが習慣になったということだった。味噌の臭い、ニンニクの臭いに、話もうまくない移民の初期に、問題が起きたらすぐに相手が Go back to your country! (故郷へ帰れ!)と冷たく言ったそうだ。涙がゆっくり落ちるほど、相手を無視する暴力的な言葉に、自制心がなかったならば、衝突するところだったが、移民を困らせるその言葉は、思いのほかしばしば耳に聞こえたという。故郷へ帰れという言葉は、故郷で暮らせという冷酷な言葉だが、



私たち自身にも、他人にもふさわしい言葉ではない。

しかし、ふと私たちの人生はどうか、という考えになった。命を終える日、本当に帰る所が私たちにはあるのだろうか。人生は、土から出て、土に戻ると言うが、聖書は意外なメッセージを伝えていて、天から来た人は天に行き、地から来た人は地へ行くが、地とは土ではなく、地獄の権威、すなわち滅びを意味する。同じ時間を生きながら、本国でないという理由で、他の国で苦しみを受ける時間もくやしいが、必ず天国があって、だれにでもその道がキリストで簡単に開かれていて、故郷に行くことができるならば、苦しみを受けながら留まる理由はないのだ。

故郷が懐かしくなる季節が来た。私たちは正確に話せば、故郷より本郷、つまり、天国に行かなければならない人々だ。天国はお金で買うのではなく、恵みで与えられた福音を受け入れるすべての人に与えられるのだ。本郷を持った人々に、幸いな秋風をプレゼントする。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまで連絡してください